

1 施策の全体像

5年間の小牧山全体のスケジュール

・プロジェクト発足による推進体制の確立
 ・(仮称)史跡センターオープンに向けた準備 **P**

・(仮称)史跡センターオープン
 ・(仮称)史跡センターオープンと各事業の展開 **D**

C A P

目指す姿	指標	施策	方向性	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
観光拠点としての更なる活用	●観光ガイドボランティアの年間利用者数	(仮称)史跡センターの開設に向けた史跡ガイドの充実等	【目標・目的】 ・小牧市への来訪者のニーズに合ったガイドが行える。 ・(仮称)史跡センターにガイドが常駐し、小牧山の歴史や自然等の案内が行える。 【事業・手段】 ・観光ガイドボランティアの充実(増員・レベル・コース) ・(仮称)史跡センター案内ガイドの養成と体制の確立	・観光サポーター養成講座開催	・研鑽講習・現地研修の実施(隔年実施) ・(仮称)史跡センター常駐ガイドの養成・案内や申し込み等実施体制の確立	・実施	・研鑽講習・現地研修の実施(隔年実施)	
	【目標値】 2,000人 【平成28年実績】 668人		【目標・目的】 ・来訪者に小牧山の魅力を十分に伝えることができる。 【事業・手段】 ・案内看板等史跡ガイドの手法を確立し体制を整える		・小牧山観光誘客推進プロジェクト発足による、施策推進体制の確立	・効果的なガイド手法(例:案内看板・ARの導入)の検討・スケジュール作成・必要に応じ予算化	・効果的なガイド手法のうち可能なものから実施	・ガイドの実施
	●観光ガイドボランティアの人数	(仮称)史跡センターを軸とした観光スポットとしての必要な機能整備等	【目標・目的】 ・(仮称)史跡センターに観光地として必要な機能が整備されている。 【事業・手段】 ・小牧山観光誘客推進プロジェクトメンバーによる必要な機能の洗い出しと整備		・小牧市歴史館にWi-Fi設置 ・必要な機能を洗い出す	・関係各課と機能整備に向けた調整・検討を行う(ガイドの充実と連動)	・機能整備施工	
	【目標値】 60人 【平成28年度実績】 21人		【目標・目的】 ・小牧市及び小牧山を、より多くの人に知ってもらい、来訪してもらう。 【事業・手段】 ・商談会への参加等誘客活動を行う ・ツアー商品を開発する ・誘客に向けた魅力の発信活動を行う	・小牧観光めぐりツアーの実施 ・商談会参加	・商談会参加等プロモーションの実施(随時) ・小牧観光めぐりツアーの実施 ・パンフレットの作成	・モニターツアーの実施	・ツアーの実施	・(仮称)史跡センターオープンにあわせて実施した各事業の評価とその改善策を検討、次年度以降の計画を練る
	●小牧市歴史館の年間来館者数	小牧山の歴史やロケーションを活用したイベントの開催等	【目標・目的】 ・小牧山の歴史やロケーション等魅力の効果的なプロモーションとその手段としてのイベントを一体的に行う。 【事業・手段】 ・小牧山の魅力を発信できるプロモーションとイベントの検討と実施	・小牧山を会場とした各種イベントの実施(例)小牧山さくらまつり、こまき信長夢夜会	・プロモーション及びイベントの実施・検討	・プロモーション及びイベントの実施		
	【目標値】 100,000人 【平成28年実績】 77,453人		【目標・目的】 ・他都市と連携した旅行商品を造成することで、「広域観光」を発信し、小牧山の魅力と集客力を高め、誘客を行う。 【事業・手段】 ・スタンプラリーの実施 ・犬山城を含むツアー造成	・日本遺産申請 ・スタンプラリーの実施(信長公居城連携協議会) ・尾張広域観光協議会開催	・スタンプラリーの実施(信長公居城連携協議会) ・犬山城との連携についての検討		・犬山城とツアー造成	
		小牧山周辺の街並み整備等	【目標・目的】 ・小牧山周辺に、観光地としての雰囲気をつくる。 【事業・手段】 ・小牧駅から小牧山への導線を充実させる			・必要な事業・整備の洗い出し	・関係各課と検討	C A P

3 平成 28 年度の主な取り組み

課名	役職	氏名	課名	役職	氏名
小牧山課	係長	浅野 友昭	小牧市観光協会	書記	八木 裕介
小牧山課	主査	小野 友記子	公園緑地協会	主査	鈴木 隆行
施設活用協会	主査	清田 憲司	商工会議所	企画運営課次長	杉山 光次
みどり公園課	係長	堀場 武	発掘作業員	—	平手 卓
みどり公園課	主事	松富 祐太	小牧市自然環境観察人	—	柴田 和則
広報広聴課	主任	矢葺 栄次	自然観察指導員	—	清水 豊
広報広聴課	主事	兵頭 朋恵	観光ガイドボランティア	—	鶴飼 公俊
秘書政策課	主事	加藤 みどり	観光ガイドボランティア	—	伊熊 啓人
スポーツ推進課	主事補	富安 笑子			

	日時	場所	概要
1	1月26日(木)	小牧市役所	<p>【第1回小牧山観光誘客推進プロジェクトチームキックオフミーティング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトの概要と、今後の検討事項・スケジュールについての確認。 ・各課より、小牧山に関する状況報告。 ・観光誘客推進研修 <p>講師：電通CDC 統合ディレクションルーム 若林 宏保 氏 ～「小牧山」を軸とした観光誘客推進に向けてのブランディング～</p>
2	2月24日(金)	小牧山	<p>【小牧山散策】</p> <p>小牧山課小野主査によるレクチャー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“信長編”として織田信長を切り口に小牧山を座学と現場散策により学ぶ。
3	3月28日(火)	小牧山	<p>【小牧山散策】</p> <p>小牧山課小野主査によるレクチャー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“家康編”として徳川家康を切り口に小牧山を座学と現場散策により学ぶ。



4 事例紹介

観光ガイドボランティア

パンフレットには載り切らないエピソード満載!!
地域の魅力を“伝え”ています。



主な活動

小牧市の歴史的な価値は、ただ見るだけでは分かりにくく、説明看板やパンフレットなど一面的な発信方法だけでは、その魅力を十分に伝えることができません。

そんな小牧市の魅力を、来訪者と共に現場を歩き、生きた言葉で解説し、伝えているのが、観光ガイドボランティアです。

様々なエピソードと共に、来訪者へ語りかけるように展開される解説により、当時の様子があたたかも目の前に見えてくるような体験が出来ます。



観光ガイドボランティア 鶴飼公俊さん

「案内する方が、一般の方ならここ、歴史好きな方ならちょっとディープなここを紹介…」と、その人に合わせたガイドを心がけて工夫しています。

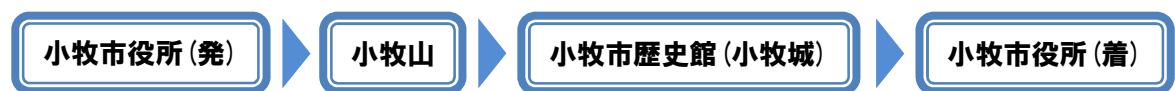


ガイドコース(例)

①史跡小牧山と小牧城+街中の名所旧跡観光コース<約 2 時間 30 分>



②史跡小牧山と小牧城コース<約 1 時間 30 分>



③街中の名所旧跡を訪ねてコース<約 1 時間 30 分>



④小牧城コース<約 30 分>



申し込み

所定の申込書にて小牧市観光協会へ申し込み

料金

ガイド交通費として、1人につき 1,000 円

市内企業が小牧山で新人研修

今年 4 月には、ダイセー倉庫運輸(株)(小牧市入鹿出新田)が、「郷土の歴史を知る事も大切」と、小牧山で新入社員研修を行い、観光ガイドボランティアが案内しました。新入社員の皆さんには、将来の小牧を担う人材として頑張ってもらいたいと思います。